

2018年3月期第2四半期決算説明会資料



2017年11月30日(木) ベルサール八重洲

本日の内容



- ■2018年3月期第2四半期決算報告-----p.3
- ■事業環境 ----- p.10
- ■事業戦略·施策 -----p.18
- ■2018年3月期業績見通し ----- p.34
- ■株主還元について-----p.37

<注 記>

本資料に掲載されているダイコク電機の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。これらの情報は、現在入手可能な情報から当社の経営者の判断に基づいて作成されております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみに全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。

投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるよう、お願い申し上げます。

2018年3月期第2四半期の主なニュースリリース



[決算関連情報]

■ 2017年

8月9日 平成30年3月期 第1四半期決算短信

株主優待制度の内容決定に関するお知らせ

11月6日 業績予想の修正に関するお知らせ

11月13日 平成30年3月期 第2四半期決算短信

剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ

[新製品等事業関連情報]

■ 2017年

4月18日 DAXEL株式会社製パチスロ遊技機2機種発売に関するお知らせ

2018年3月期第2四半期 決算報告

2018年3月期第2四半期決算概要(連結)



売上高 17,996百万円

営業利益 375百万円

経常利益 493百万円

親会社株主に帰属する

四半期純利益

296百万円

単位:百万円	2017年3月期	2018年3月期	前年同期比	計画比
	第2四半期	第2四半期		
売上高	20,187	17,996	△ 2,191	△ 1,004
売上総利益	7,532	6,097	△ 1,435	△ 703
販売管理費	6,926	5,722	△ 1,204	△ 978
営業利益	605	375	△ 230	+275
経常利益	706	493	△ 213	+393
親会社株主に帰属する四半期純利益	329	296	△ 33	+246
研究開発費	1,711	1,240	△ 471	△ 410

(注)計画比は、2017年5月15日に発表した2018年3月期 業績予想数値、並びに、 2017年6月1日開催の機関投資家・アナリスト向け2018年3月期決算説明会資料記載 の計画対比です。

単位:百万円 売上高、営業利益 ■ 売上高 ━営業利益 605 375 20,187 17,996

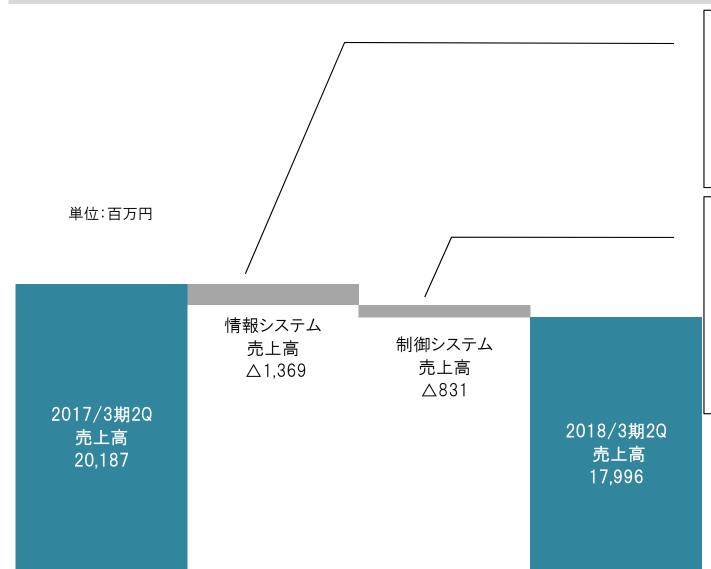
2017/3期2Q(累計) 2018/3期2Q(累計)

売上高増減要因



前年同期比

△2,191百万円



情報システム

前期に比べて新規出店比率が2割ほど減少(当社推定)したことなどにより、 CRユニットVEGASIAシリーズ及び景品 顧客システムの販売台数が前年同期を 下回りました。

制御システム

表示ユニットで1機種の販売が下期以降に延期となり、販売台数が前年同期を下回りました。

パチスロ遊技機においては期初の計画を若干上回る約5,500台の市場投入となりました(前年同期は約8,800台)。

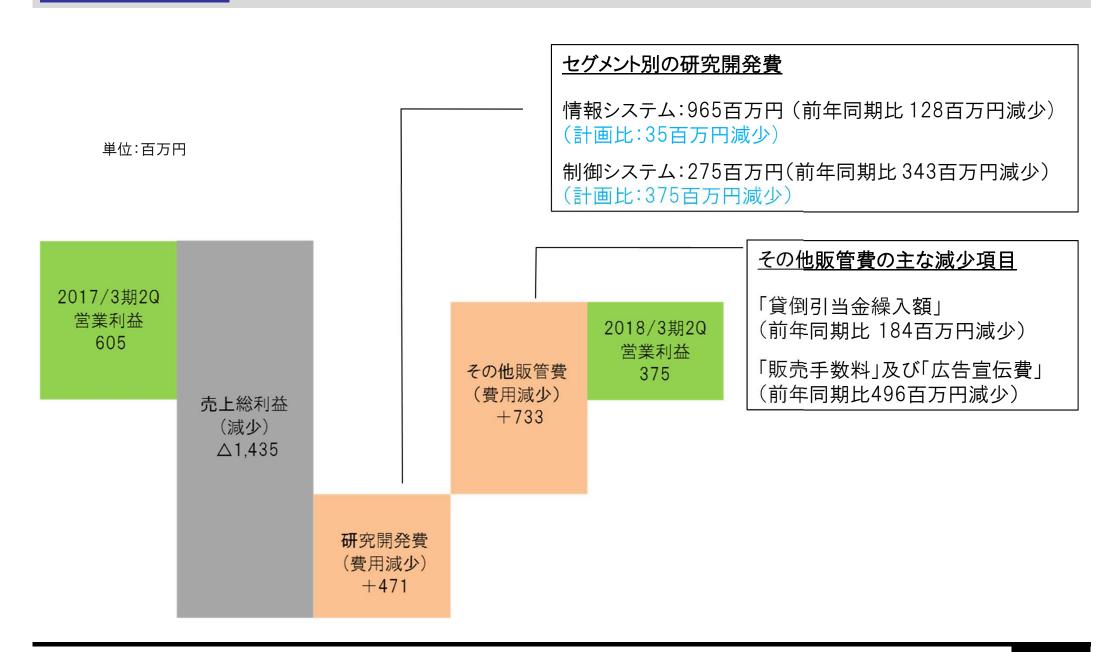
※ セグメント業績の売上高にはセグ メント間取引が含まれております。

営業利益増減要因



前年同期比

△230百万円



2018年3月期第2四半期決算概要(連結)



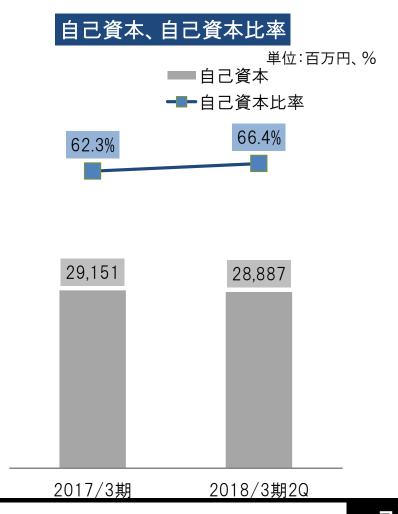
連結貸借対照表

総資産 43,500百万円

負債合計 14,613百万円

純資産合計 28,887百万円

単位:百万円	2017年3月期	2018年3月期 第2四半期	前期末比
流動資産	29,888	26,714	△ 3,174
固定資産	16,939	16,785	△ 154
資産合計	46,828	43,500	△ 3,328
流動負債	16,502	13,601	△ 2,901
固定負債	1,173	1,012	△ 161
負債合計	17,676	14,613	△ 3,063
純資産合計	29,151	28,887	△ 264
負債純資産合計	46,828	43,500	△ 3,328
有利子負債	3,300	3,300	0
D/Eレシオ(グロス)	0.11倍	0.11倍	0.00
自己資本比率	62.3%	66.4%	+4.1%
売上債権回転日数	75.3日	75.0日	△ 0.3日
棚卸資産回転日数	70.0日	65.5⊟	△ 4.5日
仕入債務回転日数	69.3⊟	81.2日	十11.9日
発行済株式総数(株)	14,783,178	14,783,178	



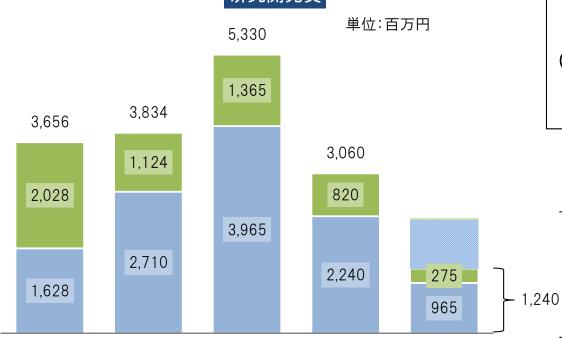
2018年3月期第2四半期決算概要(連結)



連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円	2017年3月期 第2四半期	2017年3月期	2018年3月期 第2四半期
営業CF	6,457	9,339	△ 125
投資CF	△ 1,473	△ 1,696	△ 1,559
財務CF	△ 2,790	△ 2,938	△ 591
現金及び現金同等物	11.550	14.062	11.786

研究開発費



(営業活動によるキャッシュ・フロー)△1億25百万円

〈収入〉税金等調整前当期純利益:4億85百万円、

減価償却費:10億4百万円

<支出>仕入債務の減少:13億63百万円、

未払金(その他負債)の減少:9億2百万円

(投資活動によるキャッシュ・フロー)△15億59百万円

<主な要因>固定資産の取得によるもの

(財務活動によるキャッシュ・フロー)△5億91百万円

<主な要因>配当金の支払によるもの

2,200百万円 (計画) -----

2018/3期

全社

■研究開発費 情報システム ■研究開発費 制御システム

2017/3期

2016/3期

2014/3期

2015/3期

2018/3期2Q

セグメント別業績



前年同期比 セグメント売上△2,200百万円・△10.9%、セグメント利益△263百万円・△17.4%

	単位:	百万円	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	前年同期比	計画比
	情報シ	ステム	13,126	11,757	△ 1,369	△ 1,243
		機器販売	7,911	6,555	△ 1,356	_
		サービス売上	5,215	5,202	△ 13	_
		小計	13,126	11,757	△ 1,369	△ 1,243
	制御シ	ステム	7,093	6,262	△ 831	+262
		ユニット・部品販売	3,825	3,955	+130	_
		パチスロ販売/コンシューマゲーム	3,268	2,307	△ 961	_
		小計	7,093	6,262	△ 831	+262
	セグメン	卜売上高	20,219	18,019	△ 2,200	△ 981
	情報シ	ステム	1,414	872	△ 542	△ 128
	制御シ	ステム	95	374	+279	+374
	セグメン	小利益	1,509	1,246	△ 263	+246
	全社	経費	△ 903	△ 871	+32	+29
連結売上高		20,187	17,996	△ 2,191	△ 1,004	
	連結営	業利益	605	375	△ 230	+275

(注)計画比は、2017年5月15日に発表した2018年3月期業績予想数値、並びに、2017年6月1日開催の機関投資家・アナリスト向け2018年3月期決算説明会資料記載の計画対比です。

事業の種類別セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

セグメント売上高

単位:百万円

■制御システム ■情報システム



セグメント利益

単位:百万円

■ 制御システム ■ 情報システム



事業環境

最近の業界動向・見通し



○最近の業界動向

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、平成29年9月4日に「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則及び遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則の一部を改正する規則」(施行期日平成30年2月1日、以下「規則改正」と略)が公布されました。

今回の規則改正で、例えば、遊技機の最大出玉が抑制され、管理遊技機の規格が明記されました。当面、旧基準機と新基準機が併存することになり、また、経過措置のあり方など、現時点では、決定していない事項もございます。

○ 当面の業界動向

規則改正に関する一連の動きなどから、変数が多い状況が続きますので、現状、業界の先行きを見通すことが難しい状況にあり、不透明な状況が継続しております。

最近のパチンコホール設置台数 推移



増加幅が縮小傾向にあった設置台数は底打ちへ



2015年末以降、設置台数の増加幅は縮小傾向にありましたが、2016年末頃から底打ちの動きにあります。

<u>パチンコホール 設置台数(前年比、%)</u>

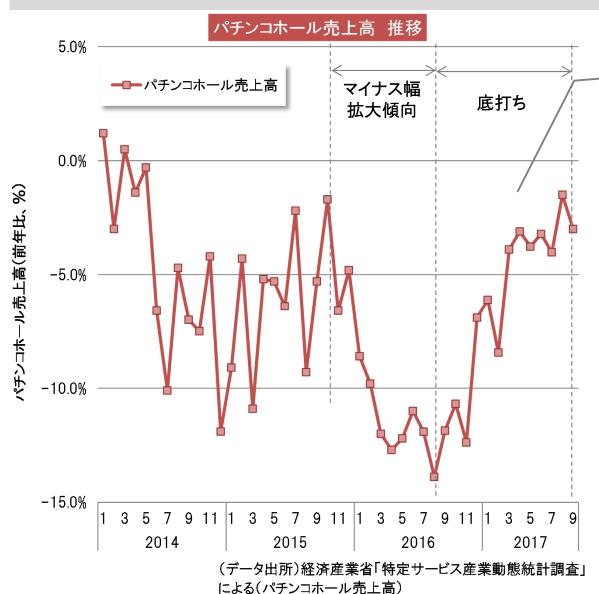
	2014年	2015年	2016年	2017年
1月	2.7%	3.6%	1.8%	-0.5%
2月	2.5%	3.4%	1.5%	0.0%
3月	2.4%	3.4%	1.4%	-0.3%
4月	2.6%	2.9%	1.6%	0.3%
5月	2.6%	3.4%	1.0%	1.0%
6月	2.8%	3.1%	1.1%	0.3%
7月	2.6%	3.6%	0.4%	0.6%
8月	3.0%	3.0%	0.0%	1.3%
9月	2.8%	3.1%	-0.1%	0.8%
10月	3.2%	2.7%	-0.1%	
11月	2.8%	2.9%	-0.7%	
12月	3.4%	2.0%	-0.1%	

(データ出所)経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」

最近のパチンコホール売上高 推移



拡大傾向にあったホール売上高のマイナス幅は縮小傾向(底打ち)



2015年末以降、前年比マイナス幅が拡大傾向にあった、ホール売上高は、2016年夏頃より前年比マイナス幅は縮小傾向にあり、底打ちの動きにあります。

パチンコホール売上高(前年比、%)

	2014年	2015年	2016年	2017年
1月	1.2%	-9.1%	-8.6%	-6.1%
2月	-3.0%	-4.3%	-9.8%	-8.4%
3月	0.5%	-10.9%	-12.0%	-3.9%
4月	-1.4%	-5.2%	-12.7%	-3.1%
5月	-0.3%	-5.3%	-12.2%	-3.8%
6月	-6.6%	-6.4%	-11.0%	-3.2%
7月	-10.1%	-2.2%	-11.9%	-4.0%
8月	-4.7%	-9.3%	-13.9%	-1.5%
9月	-7.0%	-5.3%	-11.9%	-3.0%
10月	-7.5%	-1.7%	-10.7%	
11月	-4.2%	-6.6%	-12.4%	
12月	-11.9%	-4.8%	-6.9%	

(データ出所)経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」

1店舗当たりの備付台数・大型店の割合 推移



大型店の割合は10年前に比べ増加。



(注)10年前=H18年。 (データ出所)警察庁「平成28年における風俗環境の現状と風俗関係事犯の取締り状況等について」(H29/3)

1店舗当たり501台以上備付の大型店の割合は10年前に比べ12ポイント増加しています。

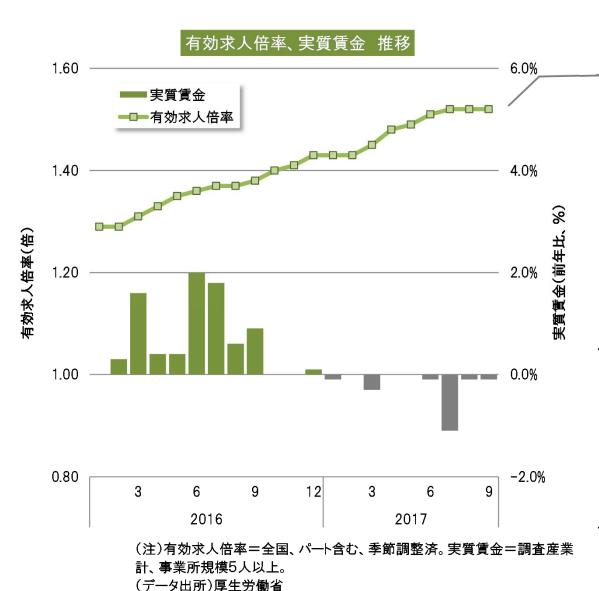
	営業所の備	1店舗当たり				
	100台	101~	301~	501~	1,001台	の設置台数
	以下	300台	500台	1,000台	~	(台)
H24	2.8	39.9	36.3	19.4	1.6	378.0
H25	2.7	38.6	36.7	20.2	1.8	387.8
H26	2.5	37.4	36.3	21.7	2.1	395.4
H27	2.3	36.7	36.1	22.4	2.5	405.0
H28	2.2	35.3	36.3	23.5	2.6	411.9
10年前	4.5	46.3	35.1	13.3	0.8	336.5

(注)10年前=H18年。 (データ出所)警察庁「平成28年における風俗環境の現状と 風俗関係事犯の取締り状況等について」(H29/3)

最近の有効求人倍率等 推移



先行きの「おこづかい」へ好影響を与えることに期待。



最近の有効求人倍率が1倍を超える水準で推移していることは、賃金を下支えし、先行き「おこづかい」へ好影響を与えることに期待します。

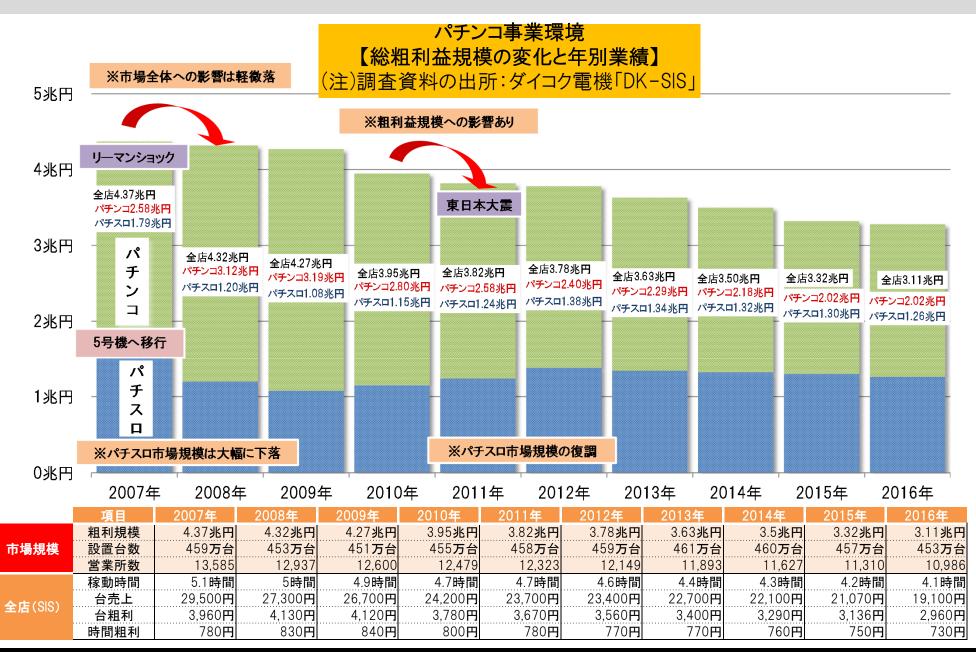
			[御参	·参考]
	有効求人倍 率	実質賃金	名目賃金	完全失業率
	(倍)	(前年比)	(前年比)	(%)
2017年1月	1.43	-0.1%	+0.3%	3.0%
2017年2月	1.43	+0.0%	+0.4%	2.8%
2017年3月	1.45	-0.3%	0.0%	2.8%
2017年4月	1.48	+0.0%	+0.5%	2.8%
2017年5月	1.49	+0.0%	+0.6%	3.1%
2017年6月	1.51	-0.1%	+0.4%	2.8%
2017年7月	1.52	-1.1%	-0.6%	2.8%
2017年8月	1.52	-0.1%	+0.7%	2.8%
2017年9月	1.52	-0.1%		2.8%

(注)有効求人倍率=全国、パート含む、季節調整済。実質賃金・名目賃金=調査産業計、事業所規模5人以上。完全失業率=男女計、季節調整済。(データ出所)厚生労働省

市場総粗利規模の変化と年別業績推移



市場は依然として厳しい状況にあるが、2020年オリンピックに向かって徐々に回復するものと想定



粗利構造の変遷



(2014年~2017年の10月比較)

(注)調査資料の出処 ダイコク電機「DK-SIS」



- ■4円パチンコ
- ■パチンコ(低価貸し)
- ■20円パチスロ
- ■パチスロ(低価貸し)

粗利シェア	2014年	2015年	2016年	2017年
4円パチンコ	47%	46%	43%	41%
パチンコ(低価貸し)	14%	15%	15%	15%
20円パチスロ	35%	35%	38%	40%
パチスロ(低価貸し)	4%	4%	4%	4%

台数シェア	2014年	2015年	2016年	2017年
4円パチンコ	39%	37%	36%	35%
パチンコ(低価貸し)	25%	27%	27%	27%
20円パチスロ	29%	29%	30%	31%
パチスロ(低価貸し)	7%	7%	7%	7%

<粗利シェアから読み取る>

- ●4円パチンコは減少
- ●低価貸しパチンコは横這い
- ●20円パチスロは増加
- ●低価貸しパチスロは横這い

店舗づくり(台数構成)の先行指標

4円パチンコシェアは継続的に減少、

低価貸しパチンコシェアは横這い、

20円パチスロシェアは微増、

低価貸しパチスロシェアは横這へ

事業戦略·施策

外部環境



遊技業界の経営環境

■当社グループを取り巻く市場環境の変化

- ■現在、パチンコ・パチスロ遊技機の双方について、ルールの見直しが同時並行的に進んでおります。
- ■「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律案(IR推進法案)」の成立に伴い、ギャンブル 等依存症対策の強化が求められており、パチンコ業界においては、パチンコ店における依存(のめり込み)問題対策への取組みの強化を進めております。 検討結果はパチンコホールの運営などに影響を与える可能性があります。
- ■依存問題に対する取組みの一環として、平成29年9月4日に「風俗営業等の規制及び業務の適正 化等に関する法律施行規則及び遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則の一部を改正する 規則」が公布され、施行期日は平成30年2月1日が予定されております。



■当社グループは、イノベーションによる新しい価値づくりを通じ、これからも一貫して持続的な成長を果たしていく考えに変わりはありません。しかしながら、遊技機の規則改正などは当業界に大きな影響を与える可能性があり、当社グループでは規則改正及び市場環境の変化に対応すべく見直しを進めており、当面は市場動向に合わせ、事業戦略の都度の見直しが必要な状況が続くものと思われます。

外部環境



市場環境の変化に対する当社グループの理解

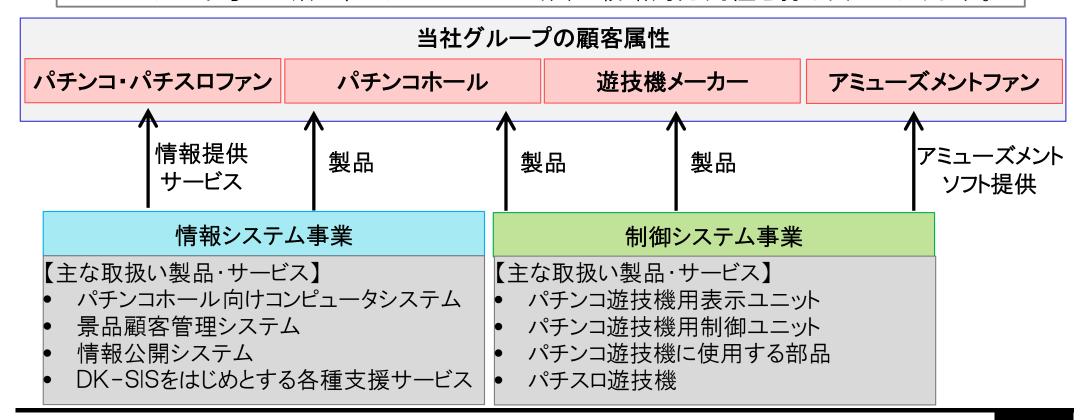
- 当社グループは、規則改正などのパチンコ業界を取巻く市場の変化に対して、中長期的にパチンコ業界が、さらに幅広く社会に支持される産業へ進化する好機と捉えております。
- 当社グループは「のめり込み」防止対策をはじめとする、新しいシステムや新しい技術を活用したサービスの開発に取組み、積極的に市場に提供するなどして、市場の進化に貢献できるよう努めてまいります。
 - 市場が活性化し、パチンコがより健全な娯楽として親しまれ、社会における余暇の充実が進むように積極的な取組みを進めてまいります。

戦略的方向性



■当社グループ事業

- ■各セグメントの主な取扱い製品・サービスと顧客との関係は下図の通りです。
- ■何れも遊技業界で事業展開を進めております。
- ■当社グループを取巻く、最近の市場環境の変化に柔軟に対応することが最重要課題であると認識し、当社グループが有する強みにさらに磨きをかけ、市場環境の変化に対応していくという考えに沿い、セグメントごとに当面の戦略的方向性を打ち出しております。



ダイコク電機の強み



ダイコク電機は、業界に無かったものを生み出してきたとの自負があります。

パチンコホール向け 会員制情報提供サービス



ファン向け情報公開端末「データロボ」

当社実績(例)

- ■遊技台データを収集・分析・加工する独自のシステム 会員制情報提供サービス「DKーSIS」(※)
- ■遊技台のデータをファンに公開する情報端末「データロボ」
- ■パチンコホール向け会員サービス「ロボカード」
- ■店舗運営を総合的に支援する「MIRAIGATE」
- ※ 2017年10月末時点で遊技機146万台のデータを保有しています。 これは全国遊技台総数の32%分に相当します。(自社推定)

パチンコ会員カード 「ロボカード」



パチンコホールの運営をシステム・

スタッフ・サービスで総合的に支援
MIRAIGATE
OPEN THE GATE OF YOUR FUTURE

ダイコク電機の強みの源泉は、「No.1の人財力とOnly1の製品力」です。

強み (例)

- ■お客様の立場になり、最適な提案をし続けた信頼関係
- ■斬新な考えを尊重、革新的なアイデアへ取り組む伝統



ダイコク電機の事業戦略

情報システム事業

戦略的方向性



情報システム事業

Ι

CRユニット及び情報公開機器などの各種製品の拡販とストック型収益モデル(経営支援サービス)の拡大による安定した業績への取組み

シェア拡大と、 より柔軟に対応できる 収益構造を加速化

 \prod

規則改正に伴う、業界の変化に柔軟に対応した 製品・サービスをタイムリーに市場に投入 業界変化を積極的に捉え、 ビジネスチャンスとしていく

 \mathbf{III}

「次世代主力製品群」の開発など、規則改正に伴う見直しを行った上で、継続的な投資を推進

ビジネスモデルの革新

戦略的方向性



情報システム事業の施策

[当面の経営環境に対する見解]

市場における設備投資意欲はしばらく消極的な姿勢が続くと予想していますが、今般の規則改正に向けて、遊技機の入替に伴う呼出ランプ等の設備機器の需要が徐々に活性化してきております。

[事業の取組みの方向]

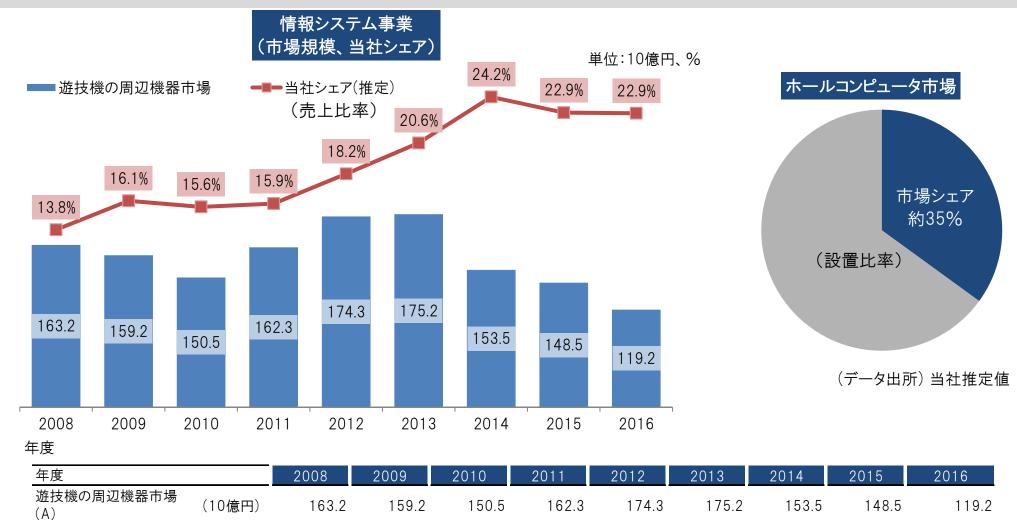
- ① 情報システム事業の市場シェア拡大を目指した取組みを進めてまいります。
- ② 市場環境の変化に対応し、顧客であるパチンコホール経営に役立ち、新規ファン獲得に貢献できる製品・サービスの開発を目指し、開発投資を継続してまいります。

[対応・施策]

- ① 次世代システム開発については、市場環境の変化に沿って、新たなルールへ対応 した仕様の追加や開発工程の見直しと、ホール業務の効率化・省力化へ貢献する 製品・サービスの強化を進めており、市場投入時期においても見直しを行ってまいり ます。
- ② 経営支援サービス(MGサービス)の提供を通じ、顧客であるパチンコホールの競争力の向上と省力化に貢献するとともに、ストック型収益モデルの取組みを加速してまいります。
- ③ ファン向けの各種情報提供サービス(パチロボなど)を拡大し、新規ファン獲得を目指した取組みを強化してまいります。

情報システム 市場シェアの引き上げ





弊社 情報システム 売上 22.6 (10億円) 25.6 23.5 25.7 31.7 36.1 37.1 34.1 27.3 高(B) 当社シェア 推定(B÷A) 13.8% 16.1% 15.6% 15.9% 18.2% 20.6% 24.2% 22.9% 22.9%

(データ) 遊技機の周辺機器市場(A): 矢野経済研究所調べ

弊社 情報システム 売上高(B): 情報システムセグメントの外部売上高

2018年3月期 第2四半期トピックス 一情報システムー 🤼





当社は以前より「顔認証」機能を提供してまいりましたが、今年6月にリリースした新CRユニット「VEGASIAⅢ」に よって、より精細なデータ分析が可能となり、新時代のデータ分析サービス「Fan-SIS」をリリースいたしました。

「全国ファン動向データ公開サービス」



- ①全国データを集約する事で、より精度が高く、 信頼できるデータ分析が可能になります。
- ②自店と全国データとを比較する事で、自店の強み や弱み、伸びしろを知る事ができます。

新台速報

3日でできる業績予測! 新台導入後3日間のデータを徹底分析

新台分析

レーダーチャートでデータの比較分析! 全国データと比較して自店の特徴が把握できる

週間実績

選択した1週間のデータが確認できます 男女別・年代別データなど客層ごとのソートで自店の客層にあった最適な機種構成を実現











情報システム事業

			2016年3月期			2017年3月期			2018年3月	月期(計画)	
	単位:百万円	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期(実績)	期初計画比	下期(計画)	通期(計画)
	売上高	16,089	17,987	34,076	13,126	14,134	27,260	11,757	△ 1,243	16,743	28,500
情報システム事業	セグメント利益	1,320	957	2,277	1,414	1,597	3,011	872	△ 128	1,628	2,500
	研究開発費 (情報システムのみ)	1,925	2,040	3,965	1,093	1,147	2,240	965	△ 35	935	1,900
ホールコンピュータ		54 台	59 台	113 台	30 台	46 台	76 台	33 台	△ 7台	67 台	100 台
	BiGMOシリーズ	6,820 台	6,592 台	13,412 台							
呼び出しランプ	BIGMO PREMIUM	21,619 台	33,368 台	54,987 台	12,674 台	14,480 台	27,154 台	12,295 台	△ 3,705台	22,705 台	35,000 台
中の山しフンフ	REVOLA				19,583 台	28,573 台	48,156 台	18,079 台	△ 921台	23,921 台	42,000 台
	IL-X	41,189 台	31,831 台	73,020 台	10,757 台	11,881 台	22,638 台	11,490 台	+490台	13,510 台	25,000 台
CRユニット「VEGASIA	J	44,094 台 69 件	53,915 台 76 件	98,009 台 145 件	30,327 台 49 件	35,535 台 49 件	65,862 台 98 件			70,000 台 120 件	
顔認証システム		6 店	6 店	12 店	3 店	9 店	12 店	15 店	△ 5店	30 店	45 店
			2016年3月期			2017年3月期			2018年3月	月期(計画)	
	単位:百万円	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期(実績)	期初計画比	下期(計画)	通期(計画)
ℂⅡスタンダード	(累計値)	2,741 件	_	2,807 件	2,830 件	_	2,866 件	2,861 件	△ 59件	_	2,970 件
コンテンツライブラリー	· (累計値)	1,502 件	_	1,575 件	1,618 件	_	1,669 件	1,731 件	+11件	_	1,770 件
DK-SIS会員	(累計値)	3,718 件	_	3,717 件	3,704 件	_	3,709 件	3,682 件	△ 43件	_	3,750 件
CⅡ-SIS会員	(累計値)	965 件	_	1,036 件	1,124 件	_	1,182 件	1,242 件	△ 8件	_	1,300 件
CRユニット	(累計値)	454 件	_	527 件	567 件	_	616 件	644 件	△ 6件	_	700 件
貯玉第三者管理	(累計値)	726 件	_	789 件	831 件	_	867 件	914 件	△ 26件	_	990 件
MGサービス 売上高		1,869 百万円	1,963 百万円	3,832 百万円	2,044 百万円	2,099 百万円	4,143 百万円	2,138 百万円	△ 12百万円	2,212 百万円	4,350 百万円

(注)事業の種類別セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。



ホールコンピュータ(営業端末)



CRユニット「VEGASIAII」



BIGMO PREMIUM



<呼び出しランプ>



L-X2



REVOLA



ダイコク電機の事業戦略

制御システム事業

戦略的方向性



制御システム事業

I

娯楽性に重点を置き、新規則に適したゲームの 創出による遊技環境の活性化に注力 パチンコホールの 稼動に貢献

 \prod

遊技機メーカーの要望に迅速対応し、自社のコスト 削減・短期開発・品質保証体制の構築を推進 顧客の開発期間の短縮、 コスト削減・品質向上に貢献

 ${\rm I\hspace{-.1em}I\hspace{-.1em}I}$

情報システム事業の保有する、「DK-SIS」データ及び「FANデータ」を活用した、新たな遊技価値を 生み出す企画提案の実施と事業領域の拡大

ビジネスモデルの革新

戦略的方向性



制御システム事業の施策

[当面の経営環境に対する見解]

市場は、遊技機の開発コストの低減への志向を強めると共に、今後の市場環境の変化に対応した新たな提案へのニーズが高まり、企画力がより重要となると想定しております。

[事業の取組みの方向]

- ① 情報システム事業と連携した取組みによる差別化戦略を進めてまいります。
- ② 市場環境の変化にスピード感をもって対応すると共に、業務効率の向上への取組みを進めてまいります。

[パチンコ事業における対応・施策]

- ①「DK-SIS(遊技台データ)」及び「FANデータ(顧客SIS)」を活用し、企画提案 強化への取組みを進めてまいります。
- ② 専門性・技術力の強化、並びに、工程管理の向上に取組み、開発期間の短縮と開発コストの低減に加え、品質向上を目指してまいります。

[パチスロ事業における対応・施策]

① 規制によるパチスロ市場の状況を注視し、リスクに対して慎重な姿勢で対応してまいります。

2018年3月期 第2四半期 トピックス 一制御システム― 🖁



パチスロ2機種をリリース

■当社グループのDAXEL株式会社は、パチスロ新機種を2機種、「パチスロ そらのおとしものフォルテ」、「パチスロ 結城友奈は勇者である」、を発売しました。今回の新機種2機種は、何れもアニスロです。





■補足御説明

- 「アニスロとは」アニメーションや漫画とコラボレーションして開発されたパチスロの略称です。
- ↓ 「DAXEL(株)のパチスロの特長とは」従来より、↓ 数々のアニメーションとタイアップし、業界で、↓ アニスロに強みを有するパチスロメーカーとの↓ 定評を頂いているものと自負しております。

※「パチスロ そらのおとしものフォルテ」、 「パチスロ 結城友奈は勇者である」は 全国のホールにて2017年7月より稼動

一基本戦略一



制御システム事業

			2016年3月期			2017年3月期			2018年3月	月期(計画)	
	単位:百万円	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期(実績)	期初計画比	下期(計画)	通期(計画)
	売上高	8,144	4,842	12,986	7,093	6,422	13,515	6,262	+262	4,238	10,500
制御システム事業	セグメント利益	350	△ 1,689	△ 1,319	95	△ 401	△ 306	374	+374	326	700
	研究開発費 (制御システムのみ)	636	729	1,365	618	202	820	275	△ 375	25	300
			2016年3月期			2017年3月期			2018年3月	月期(計画)	
	単位:百万円	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期(実績)	期初計画比	下期(計画)	通期(計画)
表示ユニット 機種数		7 機種	6 機種	13 機種	4 機種	3 機種	7 機種	4 機種	△ 1機種	8 機種	12 機種
販売台数		83,272 台	41,498 台	124,770 台	32,054 台	37,718 台	69,937 台	23,318 台	△ 11,682台	75,000 台	98,318 台
パチスロ事業			2016年3月期			2017年3月期			2018年3月	月期(計画)	
ハリハロザ末		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期(実績)	期初計画比	下期(計画)	通期(計画)
販売機種数		0 機種	1 機種	1 機種	1 機種	1 機種	2 機種	2 機種	土0 機種	0 機種	2 機種
販売台数		0 台	5,100 台	5,100 台	8,800 台	3,500 台	12,300 台	5,500 台	+100台	0 台	5,500 台

⁽注)事業の種類別セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

- ※制御システム事業では、遊技機メーカーへの「開発費売上」を「研究開発費の取消し」として計上しております。 2018年3月期は上期実績で4億円、下期は10億50百万円の開発費売上を計画しています。
- ※2018年3月期の表示ユニット機種数の通期計画ですが、13機種から12機種に変更しております(翌年以降販売予定)。

2018年3月期 業績見し

2018年3月期 見通し



- 平成30年3月期通期連結業績予想におきましては、平成29年5月15日に公表しました予想値から変更はありません。
- パチンコホールの投資意欲が低下した状態は続いており、引き続き厳しい市場環境が予想されますが、提案力強化と積極的かつ果敢な行動を推進し、通期連結業績予想達成に向けて取組んでまいります。
 - 今後修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2018年3月期決算見込(連結)



単位:百万円	2017年3月期 実績			2018年3月期 予想				前期比
	上期	下期	通期	上期(実績)	期初計画比	下期	通期	
売上高	20,187	20,527	40,714	17,996	△ 1,004	21,004	39,000	△ 1,714
売上総利益	7,532	6,421	13,953	6,097	△ 703	7,303	13,400	△ 553
販売管理費	6,926	5,978	12,904	5,722	△ 978	6,378	12,100	△ 804
営業利益	605	443	1,048	375	+275	925	1,300	+252
経常利益	706	668	1,374	493	+393	807	1,300	△ 74
親会社株主に帰属す る当期純利益	329	173	502	296	+246	504	800	+298
研究開発費	1,711	1,349	3,060	1,240	△ 410	960	2,200	△ 860
減価償却費	792	869	1,661	854	+62	996	1,850	+189
設備投資	296	693	989	394	+98	956	1,350	+361
ソフトウェア	485	1,143	1,628	440	△ 45	1,560	2,000	+372

株主還元について

株主優待制度について 2015年度、株主優待制度を新設いたしました。



株主優待制度の概要

保有株式数と保有期間に応じて

商品と交換できるポイントを進呈

対象株主

毎年9月末現在

100 株以上 保有の株主

保有株式数	贈呈ポイント数				
100~299株	3,000 ポイント (3,000 円相当)				
300~499株	6,000 ポイント (6,000 円相当)				
500~699株	12,000 ポイント (12,000 円相当)				
700~999株	15,000 ポイント (15,000 円相当)				
1,000 株以上	20,000 ポイント (20,000 円相当)				

約 600 種類の 株主優待商品から 交換可能! 保有ポイント内で **いくつでも商品が** もらえる

保有継続期間1年以上でポイント+10%

ポイントが 貯められる!

株主優待制度について



今年度に実施している株主優待商品の一例(600種類以上)

3,000ポイント



紀州南高梅干 咄々々(とつとつとつ)12粒



シャーベリアス 夕張メロン 5個×2箱



今治ブランド プレミアムリッチタオルセット

6,000ポイント



千葉県産房総ポークC ロースステーキセット



新潟県魚沼産 こしひかり 5kg



ティファール ジャスティン プラス 1.2L

12,000ポイント



松阪牛すき焼き肉(500g)& 人形町今半割下(360ml)



ふく冬の懐石



北海道産ゆめびりか 3kg×4袋

15,000ポイント



神戸牛すき焼き(900g)



ヒューレット・バッカード ドライブレコーダー



ケルヒャー 高圧洗浄機

20,000ポイント



豪華かに三昧



松阪牛サーロインステーキ 3枚(計510g)



新井旅館(伊豆) 日帰り入浴+昼食付2名様

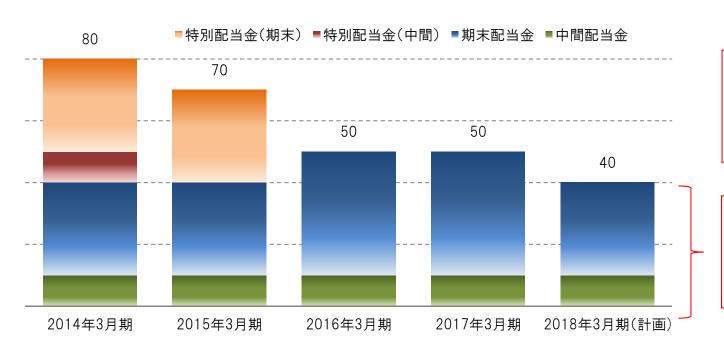
※ 優待ポイントは社会貢献活動への寄付も可能です。

昨年度いただいた株主の皆さまからのご意見等を踏まえ、 商品の入替えなど各種改善を図りました。今後も株主さまの お好みに合うように、より良い品揃えを目指してまいります。

配当について



<方針>「安定配当」をベースに、収益に応じた「特別配当」を実施



特別配当 部分

■ 業績に応じ「特別配当」 を実施しています。

安定配当 部分(40円)

- 中間配当10円
- 期末配当30円

	安瓦	と的に配当(方					
円/1株当たり	中間配当金	期末配当金	中間配当金期末配当金	特別配当金		合計	配当性向
	1 11110 -1 32)	合計	中間	期末	ни	(%)
2014年3月期	10	30	40	10	30	80	36.1%
2015年3月期	10	30	40		30	70	118.3%
2016年3月期	10	40	50			50	_
2017年3月期	10	40	50			50	147.0%
2018年3月期(計画)	10	30	40			40	73.9%

注記

本資料に掲載されているダイコク電機の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。これらの情報は、現在入手可能な情報から当社の経営者の判断に基づいて作成されております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみに全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。

投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるよう、お願い申し上げます。

■お問合せ先

ダイコク電機株式会社 総務部 IR担当 TEL 052-581-7111 E-MAIL xsomu@daikoku.co.jp